

テーマ監査の実践手続き

テーマ：マスタ管理監査
～システム監査を行う前に～

CIAフォーラム関西研究会№19

2014年8月1日

座 長 藤尾 善則

メンバー
(五十音順) 上坂 修司
 是松 徹
 末谷 哲也
 高橋 裕樹
 辻田 光博
 西上 勝博
 松田 孝一

本日の発表内容

1. 当研究会の目的
2. テーマの構造分析
3. テーマの分析アプローチ
4. マスタの精査 各論
5. まとめ(監査の具体的進め方)
6. 問題の分析と改善提言

1. 当研究会の目的

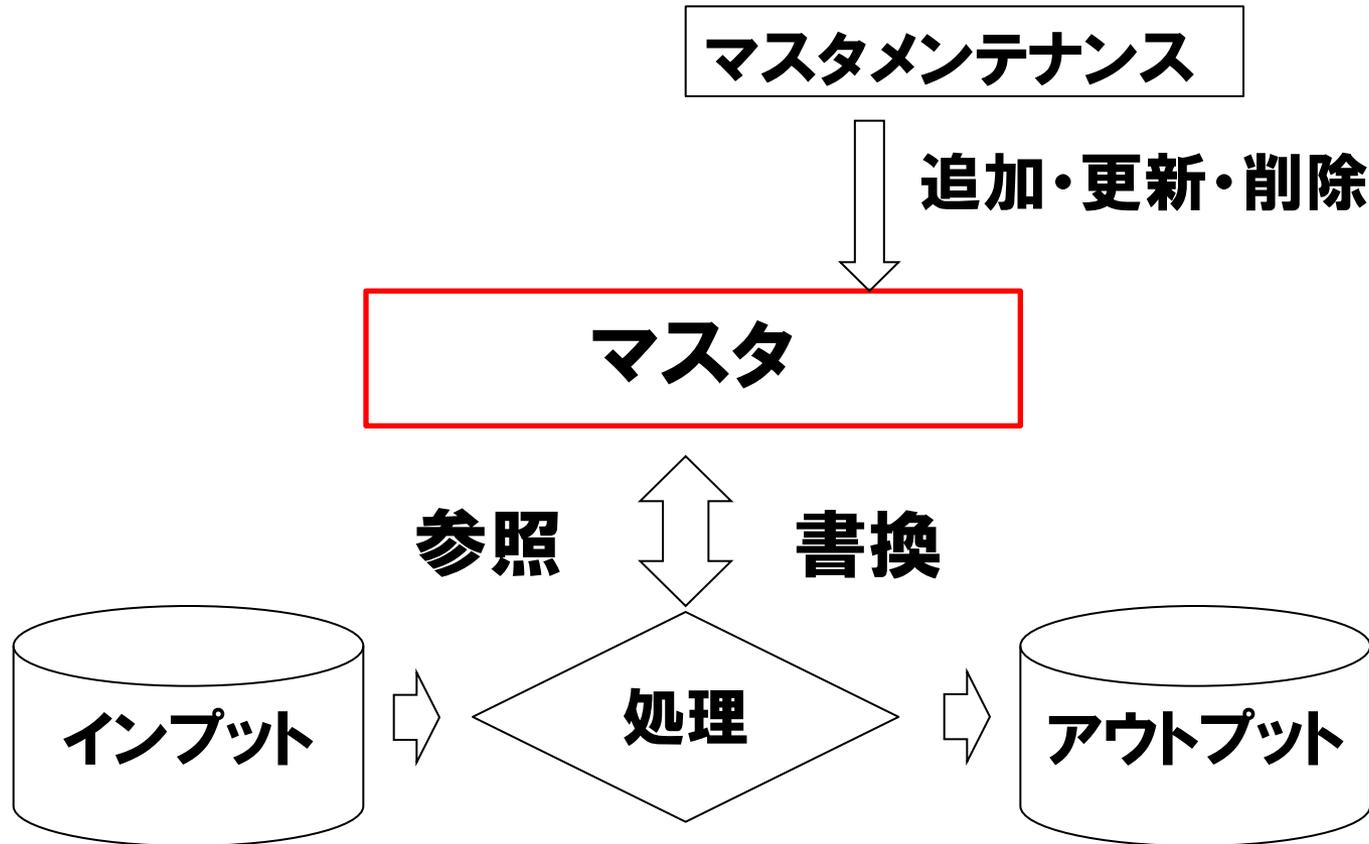
テーマ監査の具体的進め方（実践手続き）は、会社それぞれの業種及びその個性に支配される部分が多いためか、一般の書物等にはあまり記載されていません。

当研究会では、具体的な監査テーマを設定し、メンバーの経験談も交えつつ、実践的な監査の進め方について研究しております。

概念的な研究に留まることなく、**監査の本分である業務そのものスバリ**に焦点を当て、**テーマの構造分析、データ分析の方法**の検討等に力を入れて、取り組んでおります。

2. 1. 当テーマの構造分析

マスタは処理の要



2. 2. 当テーマの構造分析

マスタの主な機能

- 1) 基本データの一覧で、情報の整理・整頓
- 2) マスタ照合で、入力の省力化
- 3) マスタ照合で、不適正なデータ入力を防止
- 4) フラグで、処理の要/不要・処理内容を制御

2. 3. 当テーマの構造分析

マスタの本質 = 全件網羅、真実性の確保(ご本尊)

⇒ご本尊は汚れてはならない

キー	項目1	項目2	項目3	...	フラグ1	フラグ2	...
101	A						
102	B						
103	A						
...							
...							
151	A						

《全件》

キーは51件であり、
それ以上でもなければそれ
以下でもない

《真実》

キー:101の項目1は
Aであり、それ以外の
何ものでもない

2. 4. 当テーマの構造分析

そこで、監査テーマ

「マスタ(ご本尊)は大丈夫か」

【汚れる可能性が想定される例】

1. システム開発がツギハギ的であれば、同内容のマスタが複数ある可能性あり。会社合併も原因の1つ。
2. 同一マスタで管理部門が複数ある場合等、その分担が決まっていなければ、更新されないマスタデータが生じる可能性がある。更新されないデータは真実性に劣る。
3. 更新手順(確認・承認者の定めも含む)が確立していなければ、不正が入る余地もある。
4. システム構築時の開発者IDやテスト用IDは高権限なので、システム構築後に無効化しないと悪用される。

3. 1. 当テーマの分析アプローチ

【全体の俯瞰】（情報システム部門から入手）

- ・システム一覧・関連図
- ・マスター一覧
- ・マスタメンテナンスの業務フローとアクセス権限一覧

注意点

- ・同一・類似の名称・内容である
- ・複数システムで利用されている
- ・複数部署が管理・関与している
- ・システム独自IDを手作業でメンテナンスしていないか

3. 2. 当テーマの分析アプローチ

【マスタ登録・更新・削除の運用】

- ・申請と承認の職務分離がされているか
- ・アクセス権限の定期的な確認を行っているか

注意点

- ・各種マスタの更新手順を比較してみる。
- ・マスタメンテナンスの業務フローと実際の更新手順が、一致しているか確認する。

ルール通りに手続きが運用されているかを確認する

3. 3. 当テーマの分析アプローチ

【マスタの精査】

マスタの縦軸(数)、横軸(項目)、交点(内容)に注目

横

項目は足りているか。

例えば、仕入先Mに「資本金」がなければ下請法管理はむずかしいだろう

点

キー	項目 1	項目 2	項目 3	...	フラグ 1	廃止	更新 日
101	A						
102	B						
103	A						
...							
...							
151	A						

正しいか

更新されているか

適時に廃止されているか

縦

足りているか、
重複はないか

4. マスタの精査 各論

複数システムで利用されることが多い、基幹システムで利用される、など重要な以下の3つのマスタについて、考察する。

(1) 社員マスタ

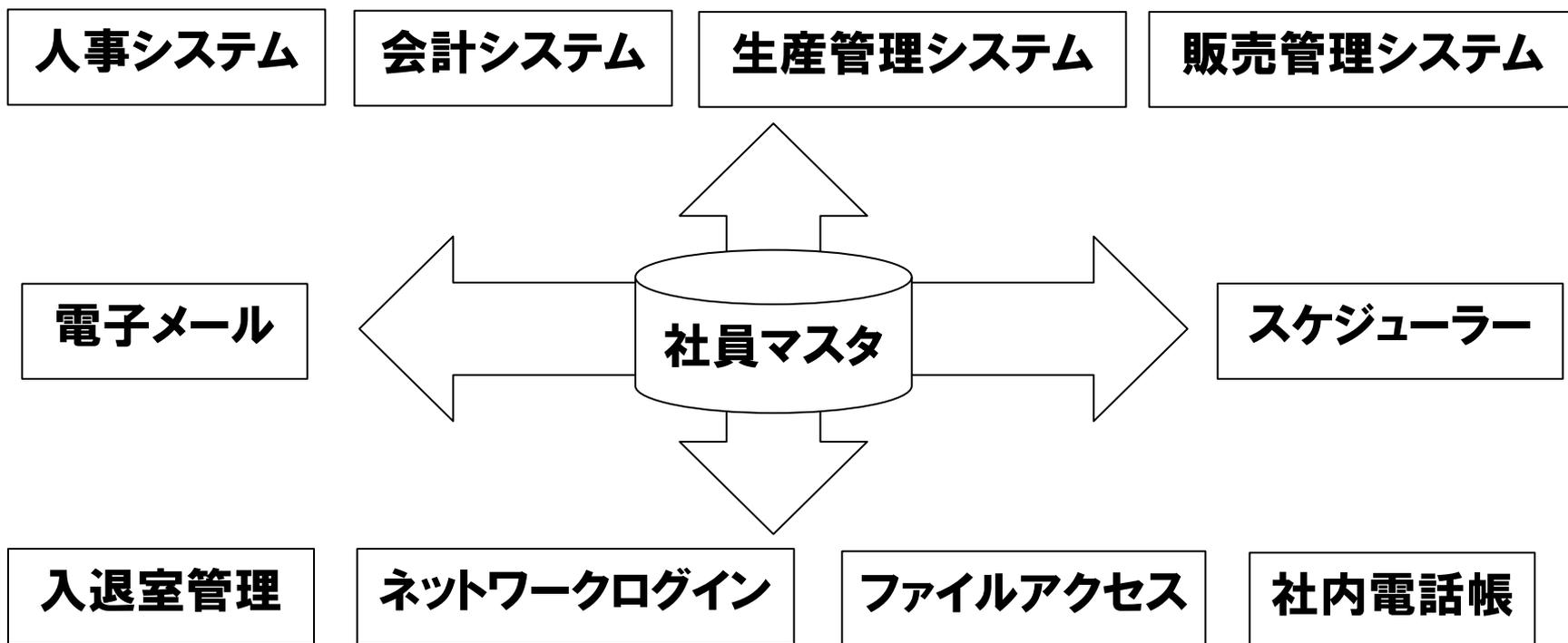
(2) 取引先マスタ

(3) 品目マスタ

4. 1. 1. マスタの精査 (社員マスタ)

現状の利用状況の把握

社員マスタは社内のいろいろな場面で利用されていませんか？



4.1.2. マスタの精査 (社員マスタ)

監査人が抱く危惧	利用者ID	危惧を引き起こす原因
①不正アクセス、データ破壊、技術情報・個人情報漏えい	・管理者 ・テスト用 ・異動者 ・退職者 ・派遣社員 ・委託先社員	・権限の集中 ・不要な権限の付与・放置 ・同一人による申請・承認 ・登録時のチェック漏れ ・更新洩れ ・無効化洩れ ・他システムへの反映洩れ (例外処理、手作業) ・共有使用 ・再利用
②不正購入・販売、架空経費請求		
③幽霊社員への給与支払		
④実行者を特定できない		

4. 1. 3. マスタの精査 (社員マスタ)

マスタの縦軸(数)、横軸(項目)、交点(内容)に注目

横 入力必須項目に空欄はないか
登録者と承認者が同一か

縦
重複はないか
一人一つか
(グループでの
共有ではない)

キー	氏名	所属	職位	雇用 契約	登録者	承認者	更新日	廃止
101	A							
102	B					○		
103	C							
...								
...								
151	ZZ							○

登録者とは別か

点

直近の異動を反映しているか

適時に廃止されているか

4. 1. 4. マスタの精査 (社員マスタ)

監査人が抱く危惧

- ①不正アクセス、データ破壊、技術情報・個人情報漏えい

社員マスタでの確認ポイント

件数(縦): 高権限者(例: 管理職、管理者、テスト用)

項目(横): 所属、職位、更新日、廃止

内容(点): 高権限の付与は所属・職位で限定されているか
システム用IDは作業終了後に速やかに無効化しているか
兼任者はいないか

4. 1. 4. マスタの精査 (社員マスタ)

監査人が抱く危惧

②不正購入・販売、架空経費請求

社員マスタでの確認ポイント

件数(縦): 架空社員、退職社員

項目(横): 所属、職位、住所、社会保障番号、更新日、廃止

内容(点): 異動・退職時に速やかに更新しているか

住所等が空欄のものはないか

住所等が親族ではない社員と同一のものがないか

兼任者はいないか

4. 1. 4. マスタの精査 (社員マスタ)

監査人が抱く危惧

③幽霊社員への給与支払

社員マスタでの確認ポイント

件数(縦): 架空社員、退職社員

項目(横): 所属、職位、住所、社会保障番号、更新日、廃止

内容(点): 異動・退職時に速やかに更新しているか

住所、社会保障番号等が空欄のものはないか

住所等が親族ではない社員と同一のものがないか

4. 1. 4. マスタの精査 (社員マスタ)

監査人が抱く危惧

- ④ 実行者を特定できない

社員マスタでの確認ポイント

件数(縦): 架空社員、退職社員、共有ID

項目(横): 所属、職位、住所、社会保障番号、更新日、廃止

内容(点): 異動・退職時に速やかに更新しているか

住所社会保障番号等が空欄のものはないか

住所等が親族ではない社員と同一のものがないか

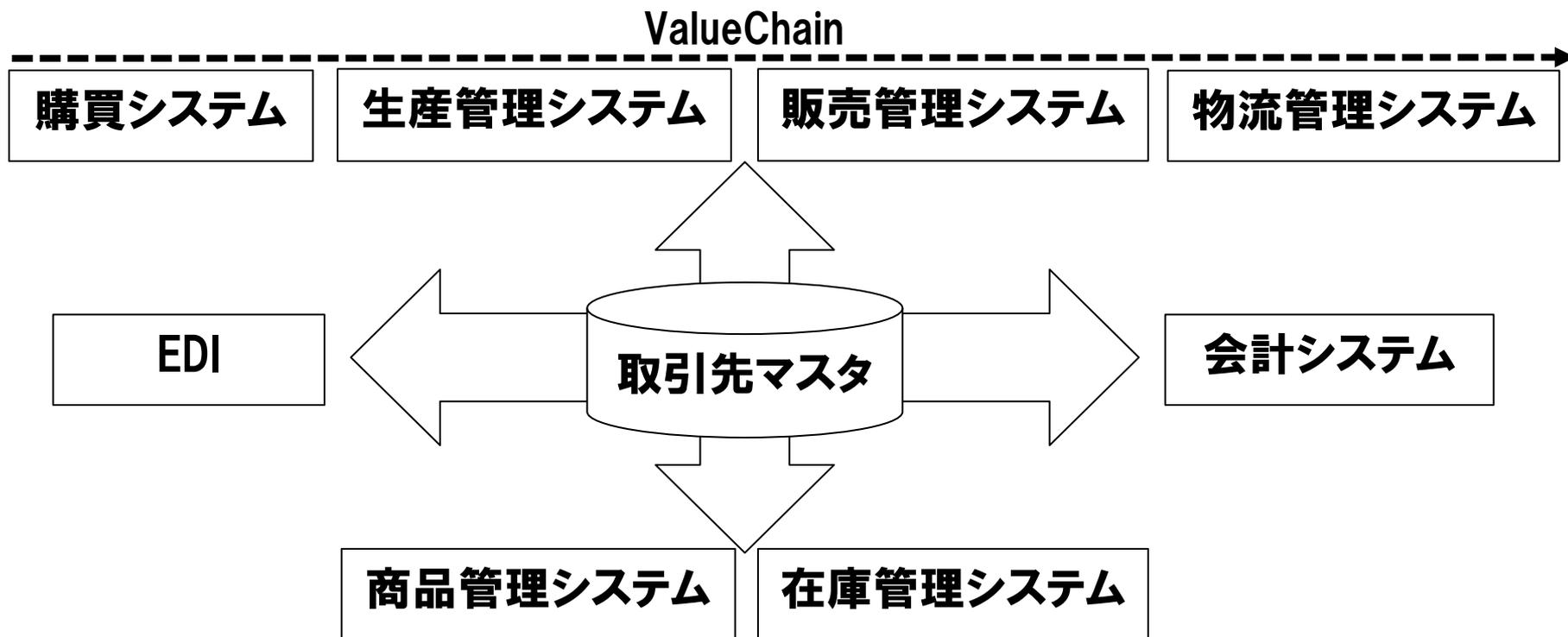
派遣社員、委託先社員が同じIDを利用していないか

いったん廃止されたIDを再利用していないか

4. 2. 1. マスタの精査 (取引先マスタ)

現状の利用状況の把握

取引先マスタはValueChainのいろいろな場面で利用されますが、システムごとにマスタが異なっていませんか？



4. 2. 2. マスタの精査 (取引先マスタ)

現状の利用形態(マスタ構造)の把握



(ID:取引先コード)

- **同一取引先(法人)でも・・・**
 - 支払先口座が異なる場合、コードを分けて管理していますか？
 - 取引の形態(仕入・販売等)や支払会計の取り扱い(棚卸資産、経費等)により、コードを分けて管理していますか？
- **取引の各局面(商談・生産・検品・出荷・返品等)での窓口となる拠点や委託先は、取引先マスタと別で管理していますか？**

4. 2. 3. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧	データ項目	危惧を引き起こす原因
①架空の取引先(販売先)を設定をしていないか	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先コード ・取引先名、住所、電話番号 ・与信情報 ・資本金 ・手続き(審査・締結・決裁等)完了日付 ・手続き承認者 ・取引中止フラグ ・論理削除フラグ 	<ul style="list-style-type: none"> ・与信調査、契約審査・締結、社内決裁等手続きの運用漏れ、管理機能の不備 ・申請者と承認者が同一 ・管理に必要な属性情報の定義漏れ、登録漏れ ・システム間でのマスタ二重管理と登録(同期)処理の不備 ・雑コードの存在 ・スポットでの取引先(現金取引先)、例外的な管理 ・取引再開時の条件見直し更新漏れ ・定期的なマスタ情報の棚卸・メンテナンスの不備
②架空の取引先(仕入先)を設定をしていないか		
③与信限度枠を超える取引を行っていないか		
④下請法違反の取引を行っていないか		
⑤マスタに登録されていない(必要な手続きを経していない)取引先と継続した取引が行われていないか		
⑥実際の取引が本来の取引(契約条件等)から乖離していないか		

4. 2. 3. マスタの精査 (取引先マスタ)

マスタの縦軸(数)、横軸(項目)、交点(内容)に注目

横

架空の取引先を設定
をしていないか

縦

足りているか、
重複はないか

与信限度枠を超え
る取引を行っていな
いか

下請法適用の有無
を登録しているか

点

正しいか

キー	項目 1	項目 2	項目 3	...	フラグ 1	廃止	更新 日
101	A						
102	B						
103	A						
...							
...							
151	A						

取引実態が
乖離していな
いか

更新されて
いるか

適時に廃止
されているか

4. 2. 4. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧

- ① 架空の取引先 (販売先) を設定をしていないか

マスタでの確認ポイント

項目 (縦): 取引先コード (雑コード)、レコード作成・更新情報にイレギュラーなものがないか (システムを通じて登録されたものではなく手作成と思われるもの等)

項目 (横): 与信調査情報 (登記住所・調査会社提供情報等)、
契約情報 (取引条件・契約期間等)、
社内決裁情報 (稟議承認者・承認日等)、
取引額 (集計値)・最終取引日

内容 (点): 上記情報に関し空欄の箇所はないか
長期間取引実績のない取引先はないか

4. 2. 4. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧

②架空の取引先(仕入先)を設定をしていないか

マスタでの確認ポイント

項目(縦): 取引先コード(雑コード)、レコード作成・更新情報にイレギュラーなものがないか(システムを通じて登録されたものではなく手作成と思われるもの等)

項目(横): 与信調査情報(登記住所・調査会社提供情報等)、
契約情報(取引条件・契約期間等)、
社内決裁情報(稟議承認者・承認日等)、
取引額(集計値)・最終取引日

内容(点): 上記情報に関し空欄の箇所はないか
長期間取引実績のない取引先はないか

4. 2. 4. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧

③与信限度枠を超える取引を行っていないか

マスタでの確認ポイント

項目(横): 与信限度枠(設定額)

与信限度額の妥当性を判断できる属性(例: 資本金、
信用調査情報等)

内容(点): ゼロまたは空欄となっていないか

与信審査の書類(稟議書等)に基づいているか

4. 2. 4. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧

④ 下請法違反の取引を行っていないか

マスタでの確認ポイント

項目(横): 下請法管理対象識別(資本金、管理区分等)
契約情報(取引内容、取引条件、支払方法等)

内容(点): 下請法管理対象に該当するか
管理区分・資本金・取引内容・取引条件・支払方法
の関係は適切か
資本金は最新の企業情報(決算書等)と一致して
いるか

4. 2. 4. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧

- ⑤ マスタに登録されていない(必要な手続きを経ていない)
取引先と継続した取引が行われていないか

マスタでの確認ポイント

- 項目(横): 取引先コード、(自社の)担当者
- 内容(点): 雑コード(例: 99999)の取引先
担当者が空欄

4. 2. 4. マスタの精査 (取引先マスタ)

監査人が抱く危惧

⑥実際の取引が本来の取引(契約条件等)から乖離していないか

マスタでの確認ポイント

項目(横): 最終取引日・取引中止フラグ、

契約情報(取引条件、契約期間等)

内容(点): 取引中止になった取引先と、再審査や契約の見直しをせずに取引を再開していないか

取引の実態が契約等で規定された取引条件から乖離していないか

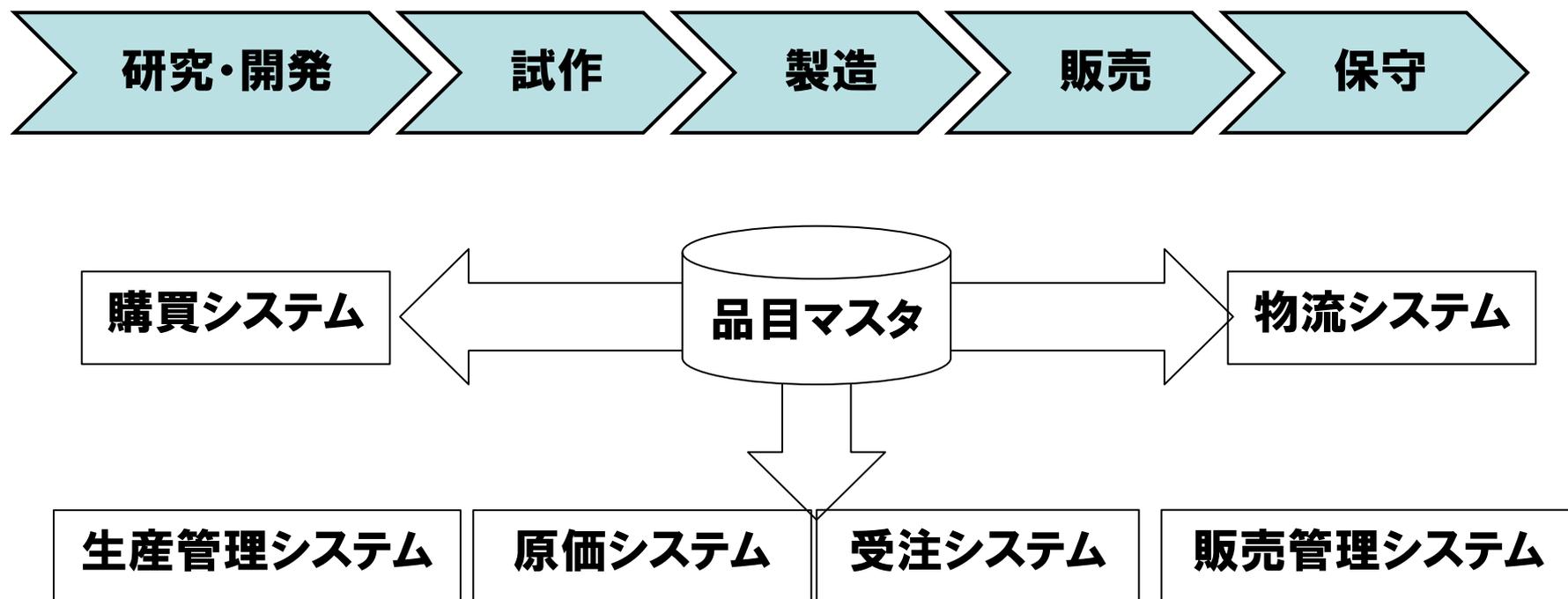
条件を複数管理できるようになっているか

条件変更に関する承認手続き

4. 3. 1. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

現状の利用状況の把握

品目マスタは社内のいろいろな場面で利用されていませんか？



4.3.2. マスタの精査 (品目マスタ:原材料、製商品)

監査人が抱く危惧	データ項目	危惧を引き起こす原因
①高額購入、低額販売	・単価	未登録、異常値、「その他」、「雑」など
②在庫過多(原材料)	・発注点・方式 ・丸め ・最低発注量	未登録、異常値
③架空発注・架空在庫(着服、預け金、循環取引)	・品名 ・更新者・承認者	・「その他」、「雑」など ・申請者と承認者が同一
④ずさんな開発費・利益管理	・開発品・PJ CD ・単価	・「その他」、「雑」など ・未設定
⑤品番間違いの頻発	・品番	類似、体系化、入力チェック
⑥危険物・有害物質管理違反	・管理要件	未設定、未更新
⑦保管・運送・廃棄条件違反	・保管・運送条件 ・使用期限	未設定、未更新

4. 3. 3. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

マスタの縦軸(数)、横軸(項目)、交点(内容)に注目

横 管理上必要な項目が網羅されているか
入力必須項目に空欄はないか

品番	品名	分類	単価	発注単位	管理要件	保管運送			入力者	承認者
101	A									
102	B									
103	C									
...										
...										
151	ZZ									

縦
重複はないか
体系化されているか
「その他」はないか

登録者とは別か

点
直近の変更を反映しているか
適切に設定されているか

4. 3. 4. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

- ① 高額購入、低額販売

品目マスタでの確認ポイント

件数(縦): 「その他」、「雑」

項目(横): 単価

内容(点): 未登録、異常値

4. 3. 5. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

②在庫過多(原材料)

品目マスタでの確認ポイント

件数(縦): 量による複数登録

項目(横): ・発注点・発注方式
・丸め
・最低発注量

内容(点): 未登録、異常値

4. 3. 6. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

③ 架空発注・架空在庫 (着服、預け金、循環取引)

品目マスタでの確認ポイント

件数(縦): 「その他」、「雑」など

項目(横): ・品名

・更新者・承認者

・原材料・製品・商品区分

内容(点): 申請者と承認者が同一

仕入商品

高額品

4. 3. 7. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

- ④ ずさんな開発費・利益管理

品目マスタでの確認ポイント

- 件数(縦): 「その他」、「雑」など
- 項目(横):
 - ・ 開発品CD、プロジェクトCD
 - ・ 原価・仕入単価、販売単価
- 内容(点):
 - ・ 「その他」、「雑」など
 - ・ 未設定

4. 3. 8. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

⑤品番間違いの頻発

品目マスタでの確認ポイント

件数(縦): 重複、体系化、チェックディジット

項目(横): 品番

内容(点): ・「その他」、「雑」など

4. 3. 9. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

⑥危険物・有害物質管理違反

品目マスタでの確認ポイント

件数(縦): 重複

項目(横): 各種フラグ(危険物、毒劇物、放射性物質、など)

内容(点): 未設定、未更新、設定誤り

4. 3. 10. マスタの精査 (品目マスタ: 原材料、製商品)

監査人が抱く危惧

⑦保管・運送・廃棄条件違反

品目マスタでの確認ポイント

件数(縦): 重複

項目(横): 保管条件、運送条件、使用期限、廃棄条件など

内容(点): 未設定、未更新、設定誤り

5. まとめ(監査の具体的進め方)

1. マスター一覧表の作成
2. マスタとその関連表作成(連携の方法・タイミング)
3. 登録・改廃手続きの確認
4. 例外処理(単発取引)、作業漏れの可能性の確認(手作業)
5. 網羅性・実在性の確認(縦・横・点での確認)

6. 問題の分析と改善提言

1. 登録・改廃手続きの確立・順守
2. 関連マスタ間の連携・整合性
3. 定期的な棚卸
4. 不足項目の追加
5. マスタのライフサイクル管理(登録・変更・削除)

最後に

この監査で作成した「マスタ関連図」は、今後

システムの全体像把握に役立つもの

となっていくと思います。

システムが複雑になっている現場では、全体を把握しにくくなっている場合があります。

監査部門で作れるものは作りましょう。

なにか、よろこんでもらえるお土産を渡したいものです。

一句： 監査して 相手がよろこぶ 置き土産

テーマ: マスタ管理

これにて、発表を終わります。

一句 : 待ってます 次のテーマは あなたから
御清聴ありがとうございました。

